

平成22年第3回小松市議会定例会質問一覧

( 6月14日 1番 ～ 8番 ・ 6月15日 9番 ～ 12番)

※ 6月14日

No. 1

順番	質問者氏名	発言通告要旨
1	吉本慎太郎	<p>1. 大和小松店撤退について</p> <p>(1) 撤退後の活用策について</p> <p>① 今現在、どのような話し合いがなされているのか</p> <p>② 進展がないならばないで現状をしっかりと市民に伝えるべきである</p> <p>(2) 要望・提言</p> <p>① 拙速でなく、長期的視野に立った慎重な判断を望む</p> <p>② アフターフォロー体制の充実を</p> <p>③ 各商店街に対する行政支援のあり方</p> <p>2. 今年の「お旅まつり」が伝えたもの</p> <p>(1) まちなか回遊の仕掛けづくり</p> <p>(2) 一過性に終わることなく「歌舞伎のまちこまつ」の通年発信を</p> <p>3. 日本人「市民」と外国人「市民」多文化共生を考える</p> <p>(1) 小松市独自のガイドライン策定を</p> <p>(2) 「医療」「防犯」「防災」地域社会に対する意識啓発を</p>
2	二木 攻	<p>1. 基地関連について</p> <p>(1) 米軍再編のさらなる協力依頼があった場合の対応について</p> <p>(2) 再編交付金について</p> <p>(3) 基地交付金について</p> <p>2. ゴミの有料化について</p>

順番	質問者氏名	発言通告要旨
3	梅田 利和	1. こども教育相談・発達支援センターについて 2. 高齢者福祉サービスについて
4	出戸 清克	1. 定住促進対策について (1) 補助対象の拡大 2. 大和閉店後の対応 (1) 懇話会の今後 (2) 駐車場の運営 3. 軽自動車税納税証明書の表示について
5	片山瞬次郎	1. 九谷焼の産業振興への取組 (1) 九谷焼の産業に対して、小松市の姿勢は (2) 県との連携と原石確保への対策 (時間的制約のなかでの喫緊のサポートが必要) (3) 工程の分業的産業構造の中で、産業底辺を支える技術と後継者について 2. 介護総点検事項について (1) レスパイトケア事業 (2) ケア付き高齢者住宅の状況 3. 小松空港と小松駅をつなぐ交通の構想・戦略は (1) 交流都市としての小松の中心市街地との連絡交通
6	川崎 順次	1. 職員人事と組織力の維持や向上について (1) 市民病院 2. 美化センターのゴミ処理について (1) 市場から出るゴミの問題について

順番	質問者氏名	発言通告要旨
7	浅野 清利	1. 中心市街地（稚松校下の活性化について） （1）稚松校下の定住促進対策について （2）空き家、空き地対策について 2. 稚松校下の魅力づくりについて （1）複合施設の整備 3. 歴史文化回廊構想の策定について 4. 梯川のゴミ対策について 5. 梯川左岸の河川敷の有効利用について 6. JR鉄橋及び小松新橋の改修について 7. 都市計画道路空港軽海線の今後について 8. 固定資産税と都市計画税について 9. 小松基地の騒音訴訟について 10. 再編交付金で激甚地区の町道に消雪装置を
8	木村 厚子	1. ものづくり発祥の地を全国に （1）遊泉寺銅山跡再生パートナーシップ （2）カブッキー ① カブッキープロモーション

順番	質問者氏名	発言通告要旨
9	橋本 米子	<p>1. 小松基地での日米共同訓練について</p> <p>(1) 小松基地への訓練移転で沖縄の負担は軽減したと考えるのか</p> <p>(2) 新たな「訓練移転」は明確に拒否の態度で臨むべき</p> <p>2. 小松・加賀水郷構想整備計画について</p> <p>(1) どの位の試算額を見込んでいるのか</p> <p>(2) 水郷構想の今後の方向性についてどのように考えているのか</p> <p>3. 大型ゴミの個別収集について</p> <p>(1) ゴミ回収の手順の周知説明について</p> <p>(2) 大型ゴミの有効活用策について</p> <p>4. 小松地域産材利用促進策について</p> <p>(1) 間伐材の活用促進策について</p> <p>(2) 「公共建築物木材利用促進法」の成立を受けて、公共建築物に地元産材の活用を</p>
10	高野 哲郎	<p>1. 駅前立体駐車場について</p> <p>(1) 現在の利用状況</p> <p>(2) 大和閉店後の影響は</p> <p>(3) 出入口を2か所にするなど使いやすい駐車場に</p> <p>2. コマツ小松工場跡地利用に関連して</p> <p>(1) 東西のアクセスを更にスムーズに</p> <p>(2) うらら北側の道路を延伸できないか</p> <p>(3) 空港軽海線との連結は</p>

順番	質問者氏名	発言通告要旨
1 1	長田 良一	1. 「大和」撤退後の活用策について 2. 雇用創出とシルバー人材センターについて
1 2	山本 光栄	1. 栗津地区にある民間産業廃棄物施設について (1) これまで責任をもって指導する立場にある県は、責任ある産廃行政を行ってきたのか疑問である。今後(7/26以降)どう対処するのか明確にしてほしい。立地する市として、市民、地域住民の声にどう応えるのか (2) ものづくりのまちとして今後、産業廃棄物施設についてどう考えているか 2. 雇用促進住宅の積極的活用について (1) 少子高齢化の急速な進展に対処することもあり、子育て支援住宅として活用する考えはないかどうか (2) 来園者が増加する木場潟公園、自然を楽しみ、スポーツを愛好する若者や大学生の合宿などの宿泊拠点などについて考えられないか